
2020年3月期 第2四半期 (中間期) 決算説明資料

2019年11月8日

株式会社 セブン銀行

目次

2020年3月期 第2四半期決算

決算ダイジェスト 2頁

損益状況 <連結> 3頁

損益状況 <セブン銀行> 4頁

損益状況 <米国：FCTI> 5頁

損益状況 <連結子会社> 6頁

財務の状況 <セブン銀行>・株主還元 7頁

中期経営計画 【進捗状況】

中期経営計画 9頁

長期的成長の基盤作り 10-12頁

新規設立子会社 13頁

参考資料

ATM利用件数と受入手数料単価の推移 15頁

ATM台数と平均件数の推移 16頁

決済口座事業 17頁

米国ATM計数 18頁

2020年3月期 第2四半期決算

連結

経常収益 745億円 (前年同期比 +11億円)

持分法投資損失 26億円

経常利益 201億円 (" ▲6億円)

親会社株主に帰属する

中間純利益 130億円 (" +132億円)

単体

経常収益 602億円 (前年同期比 ▲2億円)

経常利益 232億円 (" +4億円)

* 関係会社株式評価損 25億円

中間純利益 142億円 (" +135億円)

7pay廃止に伴う損失等を計上 連結：その他経常費用、単体：特別損失

連結

✓ 増収増益

- ✓ FCTIの収益貢献を主因に増収

単体

✓ 減収増益

- ✓ ATM利用件数前年割れを主因に減収もコスト削減効果により経常増益

【業績予想】 連結・単体ともに期初計画より変更なし

【配当】 期初計画より変更なし

中間配当 1株あたり5.50円 (期末配当5.50円、年間11円を計画)

*関係会社株式評価損につきましては、連結決算上消去されるため、連結業績に与える影響はありません。

(単位：億円)

	18年度 通期実績	上期	19年度 上期実績	前年差異	計画差異	19年度 計画	上期
経常収益	1,472	734	745	11	9	1,489	736
経常費用	1,065	527	543	16	13	1,092	530
経常利益	407	207	201	▲6	▲5	397	206
特別損失	149	146	▲0	▲146	0	1	0
親会社株主に帰属する 当期純利益	132	▲2	130	132	▲8	267	138

注1) 本資料における計数は全て表示単位未満切捨て

注2) 本資料における前年差異は全て表示単位で比較

注3) 連結損益の為替レート

: 1米ドル

2018年度上期実績 = 108.67円、2019年度上期実績 = 110.06円、2019年度計画 = 110.00円

損益状況 <セブン銀行>

(単位：億円)

	18年度 通期実績	上期	19年度 上期実績	前年差異	計画差異	19年度 計画	上期
経常収益	1,195	604	602	▲2	6	1,202	596
うちATM受入手数料	1,078	544	545	1	2	1,075	543
経常費用	765	375	369	▲6	▲9	784	378
うち資金調達費用	6	3	3	0	▲1	8	4
うちATM設置支払手数料	150	74	79	5	0	160	79
うち業務委託費	185	92	93	1	▲4	203	97
うち保守管理費	38	18	18	0	0	39	18
うち減価償却費	158	81	69	▲12	1	142	68
経常利益	430	228	232	4	14	417	218
特別損失	220	218	26	▲192	26	1	0
法人税等合計	64	2	63	61	▲3	127	66
当期純利益	145	7	142	135	▲9	289	151
EBITDA	589	309	301	▲8	14	560	287

期末ATM設置台数 (台)	25,152	24,756	25,342	586	9	25,502	25,333
ATM受入手数料単価 (円)	132.9	133.0	133.8	0.8	▲0.5	134.0	134.3
平均利用件数 (件/台/日)	92.3	93.7	90.5	▲3.2	0.3	89.2	90.2
総利用件数 (百万件)	829	419	417	▲2	3	822	414

注) EBITDA = 経常利益 + 減価償却費

損益状況 <米国：FCTI>

(単位：百万米\$)

	18年度 通期実績	上期	19年度 上期実績	前年差異	計画差異	19年度 計画	上期
経常収益	248.5	119.1	128.0	8.9	2.8	255.4	125.2
経常費用	257.3	131.4	128.6	▲2.8	3.1	253.8	125.5
うち資金調達費用	31.7	14.6	19.1	4.5	1.0	37.7	18.1
うちATM設置支払手数料	140.1	68.2	70.6	2.4	1.4	139.9	69.2
うち業務委託費	17.8	9.0	8.9	▲0.1	0.1	17.6	8.8
うち保守管理費	19.6	9.8	8.6	▲1.2	▲1.7	20.8	10.3
うち減価償却費	15.7	12.7	3.3	▲9.4	▲0.2	7.4	3.5
経常利益	▲8.7	▲12.3	▲0.6	11.7	▲0.3	1.6	▲0.3
特別損失	90.6	90.0	▲0.4	▲90.4	▲1.0	0.6	0.6
当期純利益	▲99.5	▲102.3	▲0.3	102.0	0.7	0.8	▲1.0
EBITDA	6.9	0.4	2.7	2.3	▲0.5	9.0	3.2
期末ATM設置台数 (台)	12,795	13,235	12,165	▲1,070	404	11,770	11,761
うちSEI設置台数	8,349	7,903	8,383	480	77	8,311	8,306
平均利用件数 (件/台/日)	37.5	34.5	43.7	9.2	▲0.1	45.0	43.8
うちSEI設置	52.0	48.1	55.4	7.3	▲0.2	57.2	55.6
総利用件数 (千件)	177,628	81,915	96,124	14,209	2,124	194,000	94,000

注1) 2019年9月末時点のATM台数(速報値) = 11,948台(うちSEI内：8,424台、SEI外：3,524台)

注2) FCTI社の資金調達費用 = ATM内装填現金を準備する金融機関への支払利息相当額及び委託手数料等

損益状況 <連結子会社>

(単位：百万円)

BBF

	18年度		19年度			19年度	
	通期実績	上期	上期実績	前年差異	計画差異	通期計画	上期
経常収益	1,189	566	668	102	28	1,410	640
経常費用	1,052	490	635	145	19	1,260	616
経常利益	137	76	32	▲44	8	150	24
当期純利益	108	49	21	▲28	4	97	17

✓ 外部受託先の金融機関等数 2019/3末：14社 → 2019/9末：22社

(単位：百万円)

7PS

	18年度		19年度			19年度	
	通期実績	上期	上期実績	前年差異	計画差異	通期計画	上期
経常収益	45	4	46	42	▲5	127	51
経常費用	182	87	118	31	▲11	328	129
経常利益	▲137	▲82	▲72	10	5	▲200	▲77
当期純利益	▲137	▲83	▲72	11	5	▲200	▲77

✓ サービス契約合意社数 2019/3末：150社 → 2019/9末：240社

(単位：百万円)

ATMi (インドネシア)

	18年度		19年度			19年度	
	通期実績	上期	上期実績	前年差異	計画差異	通期計画	上期
経常収益	96	46	57	11	1	143	56
経常費用	131	79	48	▲31	▲10	142	58
経常利益	▲34	▲33	9	42	11	1	▲2
当期純利益	▲175	▲197	9	206	11	1	▲2

✓ 成長に向け事業を再展開 ATM受託事業 → 直接ATMを運営するビジネスモデルへ転換

注1) 為替レート：100インドネシアルピア

2018年度上期実績 = 0.790円、2019年度上期実績 = 0.775円、2019年度通期計画 = 0.778円

注2) 2019/9月末時点のATM台数 (速報値) 150台

貸借対照表 (2019/9末) セブン銀行

(単位：億円)

現金預け金 8,207 (ATM装填用 等)	預金 6,647 (個人預金 4,443)	
	社債・借入金 1,250	
	ATM仮受金 488	その他 216
	純資産 2,231	
	資産 10,832	
有価証券 829	負債+純資産 10,832	
ATM仮払金 986		
その他 810		

単体自己資本比率 (国内基準) 54.89% (速報値)
 格付 (長期) S&P A+
 R&I AA

株主還元方針は堅持

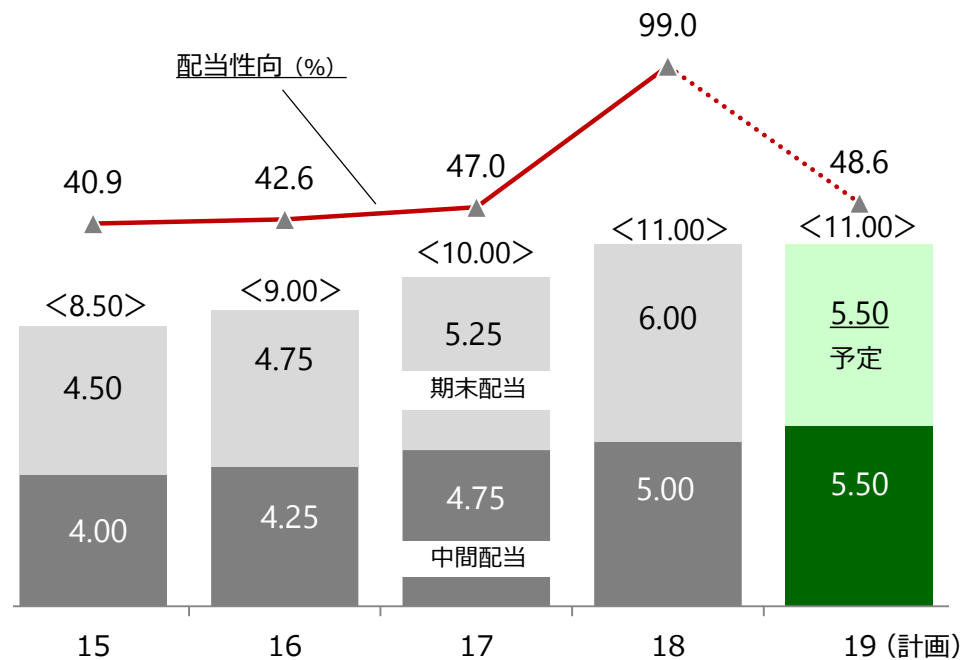
- ✓ 株主還元は、配当を基本とする
- ✓ 連結配当性向 年間40% を最低目標に、年2回の配当を実施

配当

- ✓ 18年度：年間11円
- ✓ 19年度：中間配当5.50円、年間11円を予定 (配当総額 約129億円)

自己株式取得 (2019/5/13-7/31)

- ✓ 1,350万株を取得 (取得価額約38億円)
- ✓ 2019/8/20に今回取得した自己株式全株消去



2017年度-2019年度
中期経営計画 【進捗状況】

中期経営計画

(2017年度-2019年度)

本業を伸ばしつつ事業の多角化を実現

収益構造に厚みを持たせる

収益・利益の積上げ

長期的成長の基盤作り

① 環境変化に対応したATM利用スタイル

② 第4世代ATMでの新たな価値提供

③ 子会社・関連会社による事業化進捗

① 環境変化に対応したATM利用スタイル

変化に対応
たゆまぬ進化

2017年8月～

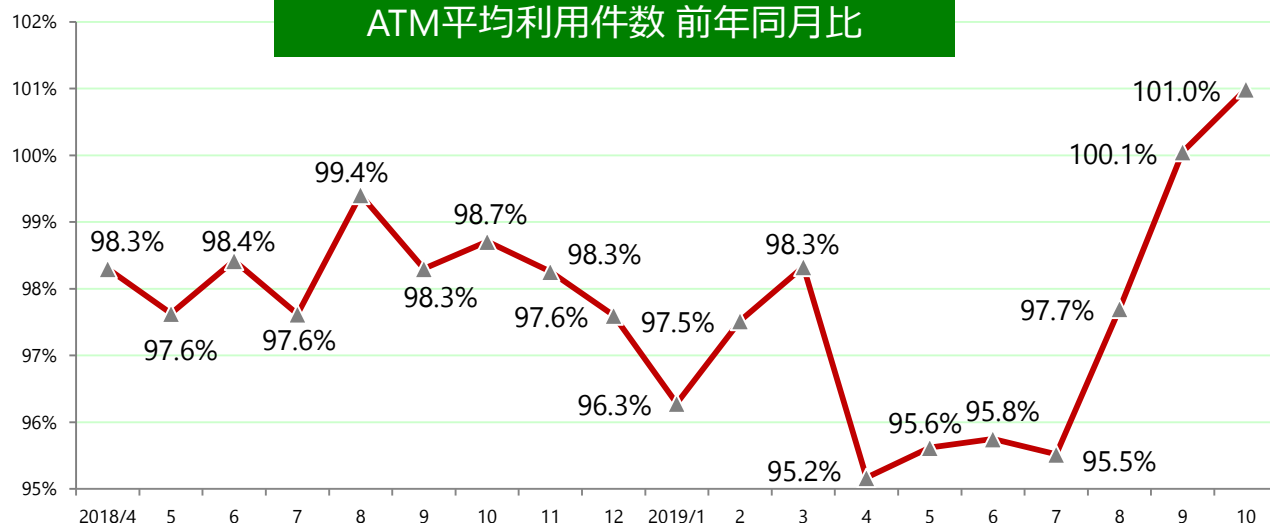
新決済事業者との
提携



スマートフォンでのATM取引

ATM接続方法の多様化

ATM平均利用件数 前年同月比



日本独自のキャッシュレス決済スタイルから生まれるATM利用ニーズ

2019年9月～ 約6年ぶりの平均利用件数前年同月比クリア

② 第4世代ATMでの新たな価値提供

できたらいいなを、
プラスしていく。

ATM+

顔認証技術やAIなどの新技術を搭載
社会とお客さまのニーズの変化に対応した『新しいATMサービスを提供』

独自性・差別化

キャッシュレス決済や新サービス等
ニーズの変化に対応可能な機能実装



- ✓ 高機能カメラ
- ✓ 本人確認書類・バーコードの読み取り機能
- ✓ Bluetoothによるスマートフォンとの通信機能

安心・安全の徹底/環境配慮

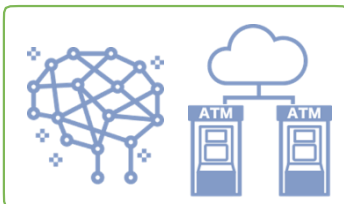
- セキュリティ対策の強化
- 環境配慮性能の向上



- ✓ CO2排出量削減（消費電力40%減）

運用効率の更なる改善

AI・IoT等を活用し、ATM運用コスト
約20%削減を目指す



- ✓ 現金需要予測・故障予測の向上
- ✓ 故障対応による出動を削減

展開スケジュール

2019年9月	入替設置開始
2020年夏	都内入替完了予定
2024年度	全台入替完了予定



③ 子会社・関連会社による事業化進捗

国内事業

事業領域の拡大

ATM
プラットフォーム

- ✓ ATM受託に向け、新たなビジネスモデルを構築
- ✓ 第4世代ATMを活用した新たな利用価値創造



決済・口座

- ✓ 他社と連携するアカウントビジネス

金融商品

- ✓ わかりやすく簡単な金融商品の充実



法人

- ✓ 法人向け決済サービスをリアル/ネットで提供



BPO

- ✓ 共通インフラとして事務受託ビジネスの強化



居住外国人

- ✓ 生活における金融サービスインフラを提供

セブン・グローバルレミット

セキュリティ

- ✓ 「安心・安全」ノウハウを活かしビジネス化



海外事業

事業領域の拡大

米国

- ✓ ATM利用の拡大
- ✓ SEIとのシナジーで、新たな金融サービスを提供



アジア

- ✓ セブン-イレブン出店地域でのATM・金融サービス等の展開



Pito AxM Platform, Inc.

居住外国人向け事業

名称	株式会社セブン・グローバルレミット
本社所在地	東京都千代田区
設立	2019年6月3日
資本金	495百万円
当社の議決権所有割合	100%

- ✓ 改正出入国管理法、ペイロールカード解禁議論等変化する環境への柔軟な対応
- ✓ 多様化するお客さまニーズへの対応
- ✓ 居住外国人向けの金融サービスプラットフォーム

セキュリティ関連事業

名称	株式会社 ACSiON
本社所在地	東京都千代田区
設立	2019年7月16日
資本金	150百万円
当社の議決権所有割合	60% (ISID 40%)

- ✓ 全国25,000台超のATM網を活用
- ✓ セブン銀行が培ってきた金融犯罪対策ノウハウ
- ✓ ISID（株式会社電通国際情報サービス）の技術力

アジア事業

名称	Pito AxM Platform, Inc.
本社所在地	フィリピン共和国マニラ首都圏
設立	2019年4月1日
資本金	85,000,000フィリピンペソ
当社の議決権所有割合	100%

- ✓ フィリピン・セブン-イレブンとの協業
- ✓ 成長するマーケットでの可能性追求
- ✓ 銀行口座の普及拡大を進める国策の後押し

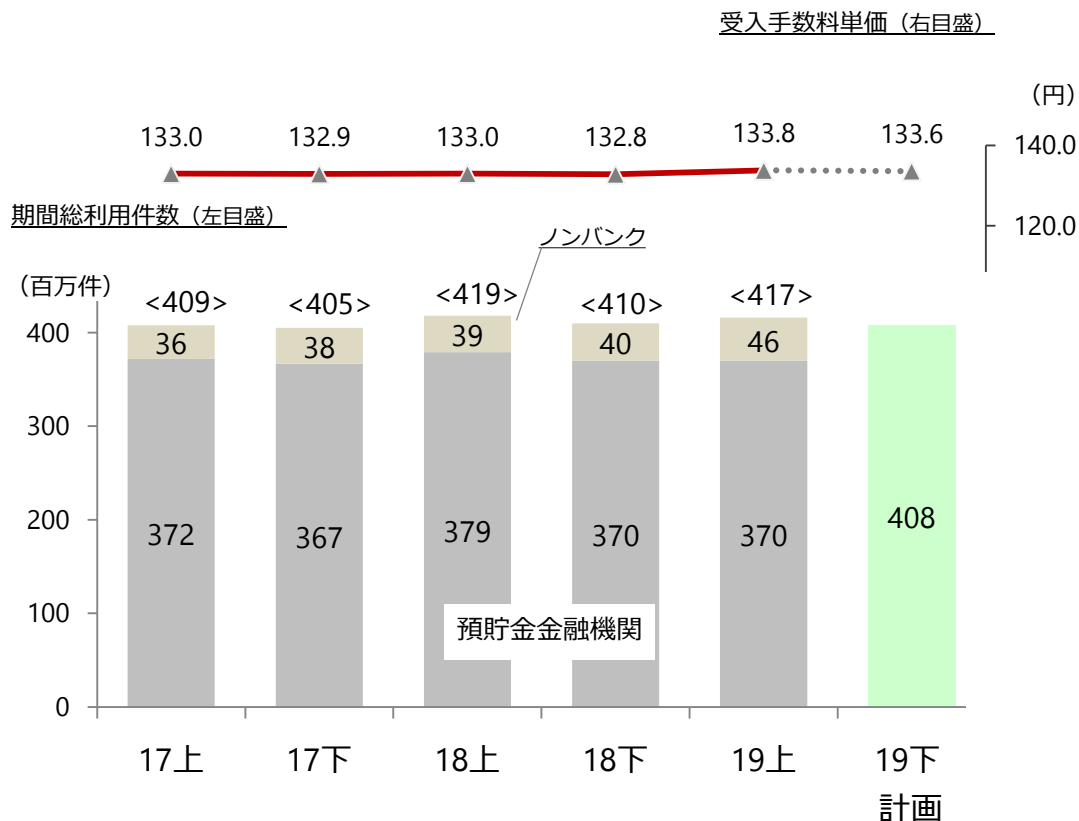


参考資料

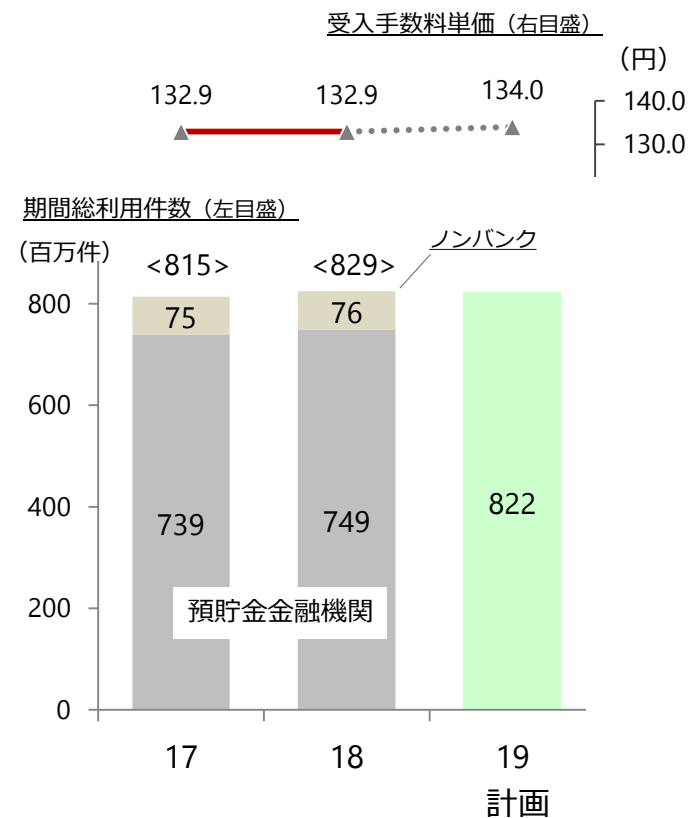
2020年3月期 第2四半期（中間期）

ATM利用件数と受入手数料単価の推移

半期推移



年度推移

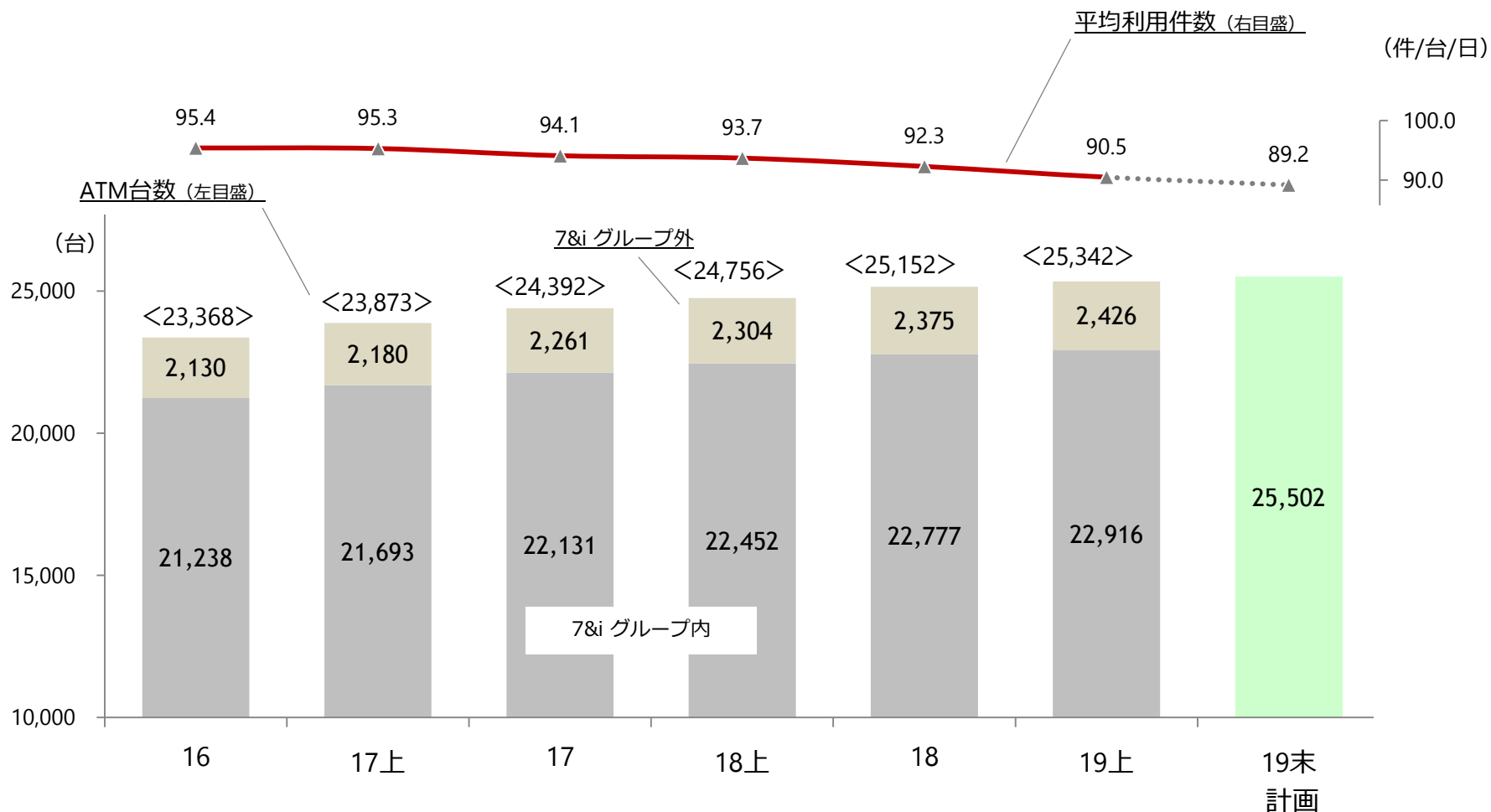


注1) 総利用件数には残高照会、電子マネーチャージ、暗証番号変更、利用限度額変更を含まず

注2) ATM受入手数料単価は、ATM受入手数料÷（総利用件数－ATM受入手数料収入を伴わない利用件数<売上金入金等>）で算出

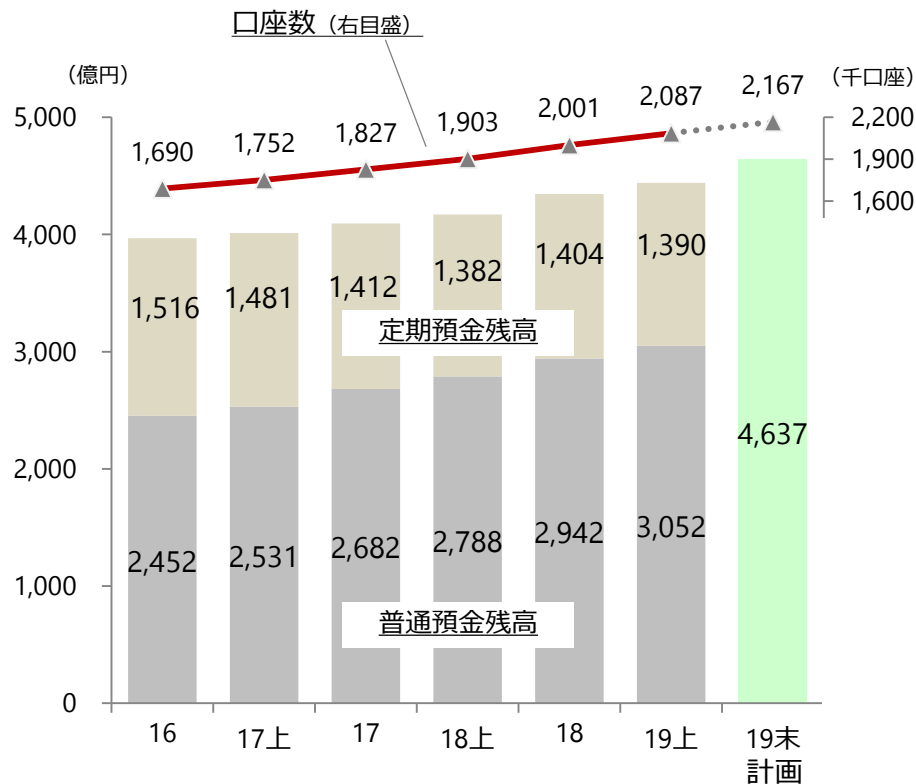
注3) 本資料におけるノンバンクは、証券会社・生命保険会社・クレジットカード会社・信販会社・消費者金融会社・事業者金融会社・海外発行カード・事業会社等の合計

ATM台数と平均件数の推移



注) 平均利用件数には残高照会、電子マネーチャージ、暗証番号変更、利用限度額変更を含まず

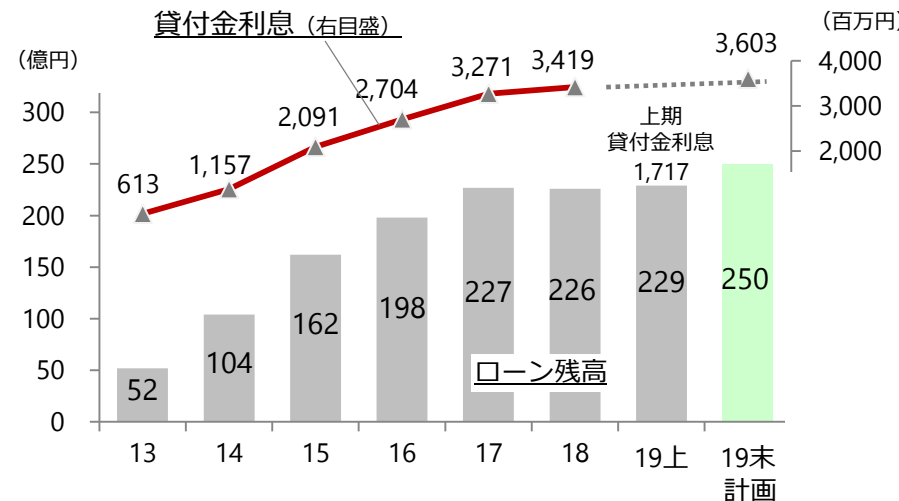
口座数と預金残高（個人）



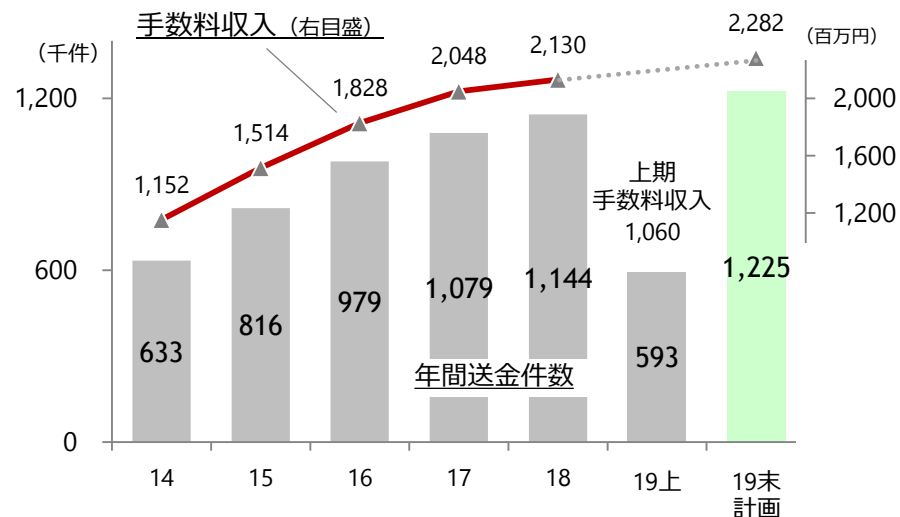
デビットサービス

	19 上期	19末 計画
契約口座 (千口座)	543	618
取引件数 (千件)	6,408	14,462

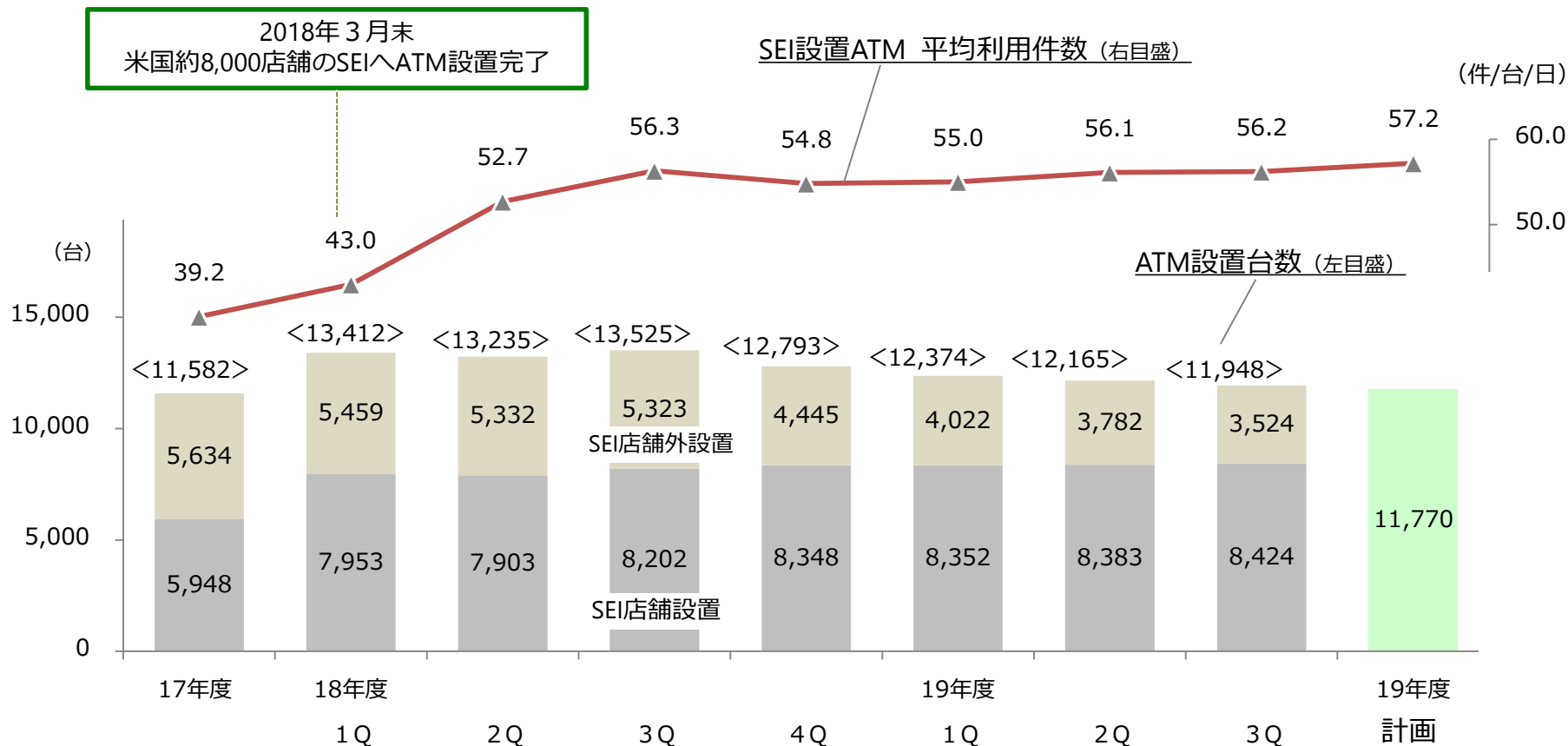
個人向けローン



海外送金サービス



ATM台数とSEI設置ATM 平均利用件数の推移



- ✓ SEI設置ATMの利用件数は引き続き堅調に増加
- ✓ 採算性の低いATMは整理、SEI設置ATMにリソースを集中し収益性強化を図る

注1) FY18 2Qより、Sunoco設置ATMを含む
注2) FY19 3Qは速報値

本資料には、株式会社セブン銀行及びその連結子会社等の業績に関連する予想、見通し、目標、計画等の将来に関する記述が含まれています。これらは、具体的な歴史的事実を除き、本資料の作成時点において取得可能な情報に基づく予測等を基礎として記載されています。これらの記述のためには、一定の前提（仮定）を置いています。これらの記述及び前提（仮定）は主観的なものであり、かつ、様々なリスクや不確実性が内在しております。かかるリスク及び不確実性により、実際の業績等はこれらの見通しや予想等とは異なる結果となる可能性があります。かかるリスク及び不確実性には、システム障害、災害、犯罪、その他ATMプラットフォーム事業、決済口座事業及び海外事業を取り巻く様々なリスクが含まれますが、これらに限定されるものではありません。また、本資料に含まれる当社及びその連結子会社等以外に関する情報は、公開情報等から引用したものであり、かかる情報の正確性、適切性等について当社は何らの検証も行っておらず、またこれを保証するものではありません。なお、本資料に関する全ての著作権その他の権利は当社に属します。

